

## 未来社会をたくましく生きる心ゆたかな生徒の育成に向けて

龍ヶ崎市立長山中学校長 宮本 浩貴

夏季休業も終わり、子どもたちの笑顔とともに、学校に活気が戻りました。

暑い夏の間、ご家庭で子どもたちは、どのように過ごされたでしょうか。

学習や部活動等、自分磨きの時間をもったり、家族と過ごす時間の中で、心を満たしたりすることができたならば幸いです。

さて、9月1日から、現在、建設中の北竜台学園の校舎の一部を使用し、学校生活が始まりました。新しい環境の中で、充実した教育活動が実践できることに、子どもたちや教職員の意欲が高まっています。また、令和9年春の開校に向けての期待感も高まっています。

一方で、慣れない環境でのスタートになりますので、校舎内外の安全確保を第一に考え、子どもたちが生き生きと安心して学校生活を送ることができるように努めてまいります。

9月から12月までの前期後半から後期前半のこの時期は、学習をするにも、運動をするにも、とても適した季節です。繫龍祭や創龍祭などの学校行事も予定されています。

そこで、授業においては、引き続き子どもたちが自ら課題を見つけ、解決の見通しをもち、友達と協力しながら課題解決に取り組み、わかったことを基に、意見や考えを伝えたり、書いたりすることに力を入れてまいります。

また、学校行事等においては、学級経営を基盤として、互いに認め合い、支え合える集団づくりを進め、共感的な人間関係を育成することに力を入れてまいります。

今後も、学校が「子どもたちがよりよく成長する場」であり続けられるように、「どのような子どもたちを育てたいのか」について、改めて、教職員一同で確認し、子どもたち一人一人の持ち味を生かして、「未来社会をたくましく生きる心ゆたかな生徒の育成」を推進してまいります。

引き続き保護者、地域の皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。